

平成30年度第2回奈良市高齢者保健福祉推進協議会の意見の概要	
開催日時	平成31年3月19日（火） 午後1時30分から午後2時25分まで
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第22会議室
意見等を求める内容等	1. 議事録署名人の指名について 2. 奈良市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画の実績報告について 3. 奈良市地域密着型サービスの運営について
参加者	出席者 12人 ・ 事務局 12人
開催形態	公開（傍聴人 1人）
担当課	福祉部 介護福祉課
意見等の内容の取り纏め	
<p>事務局による概要説明の後、出席者に意見等を求めた。</p> <p>《報告内容》</p> <p>【案件1】 議事録署名人の指名について</p> <p>【案件2】 奈良市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画の実績報告について</p> <p>1. 奈良市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画の実績報告</p> <p>1) 平成30年度介護保険事業の実績（第1号被保険者数、認定者数、標準給付費等介護保険の施行状況）、</p> <p>2) 平成30年度介護給付費の実績（地域支援事業を除く）</p> <p>【案件3】 奈良市地域密着型サービスの運営について</p> <p>1. 報告事項</p> <p>1) 地域密着型サービス事業所の新規指定申請について（申請1法人）</p> <p>2) 地域密着型サービス事業所の区域外指定について（認知症対応型共同生活介護2件）</p> <p>3) 地域密着型サービス事業所の選定等について</p> <p>《委員からの意見・議論等》</p> <p>【案件1】</p> <p>座長が議事録署名人2名を指名した。</p>	

【案件 2】

座長：介護保険に関して一体的な理解が必要になる事態になってきた。

奈良市の介護保険の施行状況の実績データから、今年は伸び率が少し緩やかになっているが、来年からまた伸び率が上がるように見える。

奈良市は近隣の中核市の中で高齢化率が高い方で、将来 40%を超えるると聞いている。40%を超えることを今から考えて啓発もしていかないといけない。

委員：奈良市の認定率がなぜ高いのは、市民の意識が高いからである。

介護サービスの種類が沢山あるので、状態が軽いうちに使うと介護予防にもなる。

座長：予防と健康づくりは大事であることをこれから主張していかないといけない。

委員：現実的に高齢化率は増えていくので給付はこれから膨らむ。適正な給付をどのように行うか。今後さらにどういう計画で適正化を進めるかということが大切である。多くの事業所のケアプランを点検するのは実質的に難しいと思うので、できるだけ効率のいいケアプラン点検をどのように行うか、実地指導との関連性をどう持たせるかなどがこれからは大事になってくる。

座長：質を確保していくケアプラン点検の仕組みづくりは中々難しいところである。

一人一人が自立した市民意識をしっかりと持っていけるよう啓発していかないと。

委員：住民が奈良市人口の 3%ほどしかない地域は、今後、更に人口が減少し、交通の便も減っていく。運転免許証は自主的に返納、コンビニがある場所まで 10 km ある。正に買い物難民という時代がすぐ来る。今後、地域として考えていかないといけない。

座長：これは生活基盤の問題であるが、買い物難民のことは、行政や事業所も協力が必要である。奈良市の介護保険高齢化対策を考えていくうえで、色々な数字を見る力を身につけて対策を考えていかないといけない。

【案件 3】

1)

座長：このような地域密着型の事業所ができると地域の人も安心である。事業所のもっと少ない地域にもできるとありがたいと思う。

2)

委員：区域外の事業所を利用する方の理由は様々だが、自治体の境界に住んでいる方にとって一番近い事業所が区域外であると言うようなケースが多い。

座長：事情により市外の事業所を利用する方がいることは理解できる。

3)

座長：地域によっては事業所を募集しても応募がない場合もあるが、今後も地域密着型サービスの需要は高まるものと思われる。

委員：熱心で質の高い法人が多いと思うので今後も頑張ってください。

以上